

本学と一号棟

日本獣医生命科学大学は、1881年(明治14年)に東京市小石川区(現文京区)の護国寺境内にて日本初の私立獣医学校として誕生しました。1937年(昭和12年)からは東京都武蔵野町(現武蔵野市)に校舎を構え、この場所で獣医学・生命科学の教育研究を続けています。

武蔵野町への移転の翌年に完成し、現在に至るまで現役で活用されている校舎が「一号棟」です。元々は1909年(明治42年)に東京市麻布区役所庁舎として建てられましたが、1935年(昭和10年)以降使われなくなっていたところを本学が買い取り、学校校舎として再利用するために武蔵野町に移築しました。麻布区の区役所庁舎から武蔵野町の学校校舎へ、場所や役割とともにその姿も変化を重ねてきた一号棟ですが、都内において唯一現存する明治期の役所建築としての価値が認められ、令和2年(2020年)に「旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)」の名称で国の登録有形文化財(建造物)となりました。当館は、この一号棟を活動拠点として活用しています。



麻布区役所庁舎
【出典】
東京市麻布区(1941)
『麻布区史』(部分)
東京都立中央図書館蔵

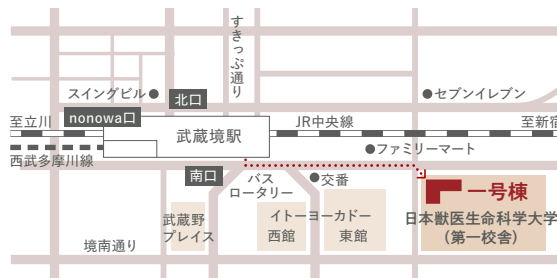


1944年頃の一号棟
【出典】
日本高等獣医学校
専門学校 第5期生
卒業アルバム(1944)

日本獣医生命科学大学附属博物館

☎ 0422-31-4151(代)

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1



開館日や博物館の最新情報は博物館公式webサイトにて公開しています。見学をご希望の方は博物館公式webサイトをご参照ください。



博物館公式webサイト



来館案内



お問い合わせフォーム



Facebook



附属博物館

日本獣医生命科学大学

当館について

当館は、本学で学芸員課程を履修する学生の実習の場として、2015年4月に一号棟の一角を活用して開館しました。開館当時は「日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム」の名称で日本の里山に暮らす野生動物の標本を中心に展示を行っていましたが、2017年からは本学の歴史に関連した展示も実施しています。その後も、学内外のイベントに合わせたワークショップの実施や、地域の博物館・小学校との連携、団体見学の受け入れなど、活動の幅を広げてまいりました。

改正博物館法の施行を契機に、2023年4月からは館名を「日本獣医生命科学大学附属博物館」に改称し、「日本獣医生命科学大学の歴史と獣医・畜産・生命科学の総合博物館」を新たなコンセプトに掲げ、活動を続けています。

研究・展示活動

本学の歴史と獣医・畜産・生命科学の総合博物館として、以下のセクションの整備に取り組んでいます。

SECTION 1

大学歴史資料館

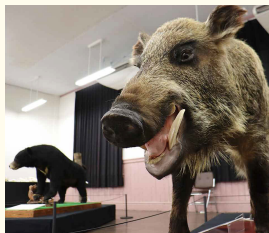
本学および獣医・畜産・生命科学の歴史的資料、ならびに国登録有形文化財である一号棟に関する資料を収集し、公開する。



SECTION 2

ワイルドライフ・ミュージアム

野生動物と人との関わりや保全に関わる資料を収集し、公開する。



SECTION 3

獣医生命科学館

本学における最新の特色ある研究内容を公開し、その成果を社会へ還元する。



教育普及活動

学芸員課程

当館は、本学で学芸員課程を履修する学生の博物館実習(学内実習)の場としての役割を担っています。学内実習は当館の施設見学を通じて多様な博物館の姿を学ぶ「見学実習」と、当館の収蔵資料を実際に取り扱う「実務実習」に分けられており、それぞれの実習を通じて学芸員に必要な様々な知識を身につけることができます。なお、本学では獣医保健看護学科または動物科学科に在籍する学生の希望者は学芸員課程を履修することができます。



社会連携活動

武蔵野市の博物館と連携した出張展示やワークショップを開催しています。また、近隣の小学校と連携し、子供たちを対象とした特別授業や見学ツアーを実施しています。そのほか、地域のイベントへの協力や、学外からの取材への対応や寄稿など、活動の幅は多岐に渡ります。

